



2 0 2 3 年 8 月 1 6 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

被爆 78 年・連合 2023 「平和ナガサキ集会」に参加

核兵器廃絶・恒久平和へ決意を固め合う

8月9日、長崎が78回目の「原爆の日」を迎えるにあたり、JR連合はJR西労組および長崎地本を中心とするJR九州労組の組合員約30名とともに、8月8日に開催された連合「2023 平和ナガサキ集会」に参加した。また、連合長崎および連合PAT（ピース・アクション・チーム）のスタッフとして、JR九州労組より多くの組合員が行事の準備や運営に積極的に協力した。大型の台風6号の接近のため、連合「2023 平和行動 in 長崎」として予定されていた8月9日の「2023 ピース・ウォーク」「万灯流し」の行事は中止となり、長崎市主催「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」も規模を縮小し室内で開催されたため、残念ながら参加できなかったが、現地に参集した組合員は、悲惨な被爆の実相を改めて学ぶとともに、原子爆弾の犠牲となった方々を悼み、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を祈念し、そのために取り組む決意を固め合った。

長崎県立総合体育館・メインアリーナにて開催された連合「2023 平和ナガサキ集会」には、来賓の大石賢吾長崎県知事、鈴木史朗長崎市長らが参加した。大石知事は「次期SDGsの目標に核兵器廃絶を明確に位置付けるべき」と、鈴木市長は「原子雲の下で人間に何が起こったのかを、目で見て耳で聞いて心で感じてください」などとそれぞれ訴えた。また、被爆を経験した長崎平和推進協会の山田一美氏から、激しい火傷を負った被爆者が続々と避難する地獄絵のような惨状など、当時の



体験談を伺い、原爆の非人道性について学んだ。また、長崎大学核兵器廃絶研究センター長の吉田文彦氏から「核軍縮再起動への挑戦」と題する講演を受けた。

ロシアのウクライナへの軍事侵略で核兵器の脅威が高まり、核兵器廃絶への道のりは非常に厳しい環境にあるが、JR連合は、連合の平和行動に連帯、参画し、世界平和の実現に向けて取り組んでいく。